

## DEEP DIVE Insight

### 中国 055 型駆逐艦建造の謎：環境シェルター

DEEP DIVE 小原凡司

2017 年頃から、中国のネット空間で「下餃子」という言葉が見られ始めた。大量の餃子を大鍋に放り込むというイメージである。2016 年だけでも 20 隻余りの艦艇が就役しており、その状況を誇らしげに表現したものだ<sup>i</sup>。2024 年に米国防総省が発表した中国軍事力レポートによれば、中国はすでに 140 隻の主要な水上戦闘艦艇を含む 370 隻の水上艦艇および潜水艦を保有している<sup>ii</sup>。それでも、中国海軍の艦艇建造の勢いは止まらない。

2024 年に注目されたのは、同年 5 月に海上公試を開始した中国海軍 3 隻目となる空母「福建」や同年 12 月下旬に進水した 076 型強襲揚陸艦だろう。しかし、数多い艦艇建造の中でも謎を残すのが 055 型駆逐艦の建造である。同型艦は 2015 年初頭から建造が開始され<sup>iii</sup>、第 1 バッチの 8 隻がすでに就役している。055 型駆逐艦は、衛星画像で計測すると、全長約 180 メートル、全幅約 20 メートルで、満載排水量は 12,000 トンを超えるとされる戦闘艦艇である。中国は、055 型駆逐艦を、米海軍の DDG-1000 ズムウォルト級に次いで世界第 2 位の強大さを誇る駆逐艦であるとしている。

第 1 バッチの 055 型駆逐艦の主機は 4 基のガスタービン・エンジンで、これらを組み合わせた COGAG (Combined Gas turbine And Gas turbine) 方式である。同型艦は、兵装として、艦橋前部に 64 セル、ヘリコプター格納庫の艦首側に 48 セルの合計 112 セルの VLS (垂直発射システム) を有し、艦首に 130mm 砲を搭載している。この他、艦橋前部に近接防空システム 1 基、ヘリコプター格納庫上に 24 連装の短射程防空ミサイル発射機を有する。

現在、上海江南造船所において第 2 バッチの 3 番艦が建造されているが、なぜか、建造中の船体の両側に高い壁を建築し、上部を環境シェルターで覆い、衛星等から建造状況を見られないようにしている。環境シェルターは、時期によって、船体の全部を覆ったり、一部だけを覆ったりしていて、覆う部分も異なっている。

図 1 は、上海江南造船所および 2021 年に長興島に建築された<sup>iv</sup>滬東中華造船の新たな造船所の衛星画像である。055 型駆逐艦は赤い長方形で囲まれた地域で建造されており、黄色い長方形で囲まれた地域で 076 型強襲揚陸艦の 1 番艦が建造されている。江南造船所では、多くの戦闘艦艇が建造されてきた。図 1 の画像の中にも、進水した空母「福建」、3 隻の 052D

型駆逐艦が確認できる。



図1 上海江南造船所・滬東中華造船所（2023年12月2日）

図2は、図1の赤い長方形で囲まれた地域の拡大画像であり、第2バッチとしては3隻目と考えられる055型駆逐艦が建造されている。第2バッチの1隻目は江南造船所の同じ区画で、2隻目は大連造船所で建造された。衛星画像で確認する限り、1隻目は2022年10月から建造が開始されており、建造前に船体を覆うための高い壁が建設されている。この環境シェルターは、恒久的な建造物ではなく、055型駆逐艦建造のために建設されているようだ。

2隻目は、2024年6月初旬に撮像された衛星画像で、大連造船所の大きなドライドック横の栈橋に係留されているのが確認された。以降、同年12月4日（確認できる最新の光学衛星画像の撮像日）まで同じ位置に係留され、艤装が行われている。同年5月13日の衛星画像では、同栈橋に同艦の姿を確認できず、当時、同艦は大連の大孤山造船所において建造されていた。



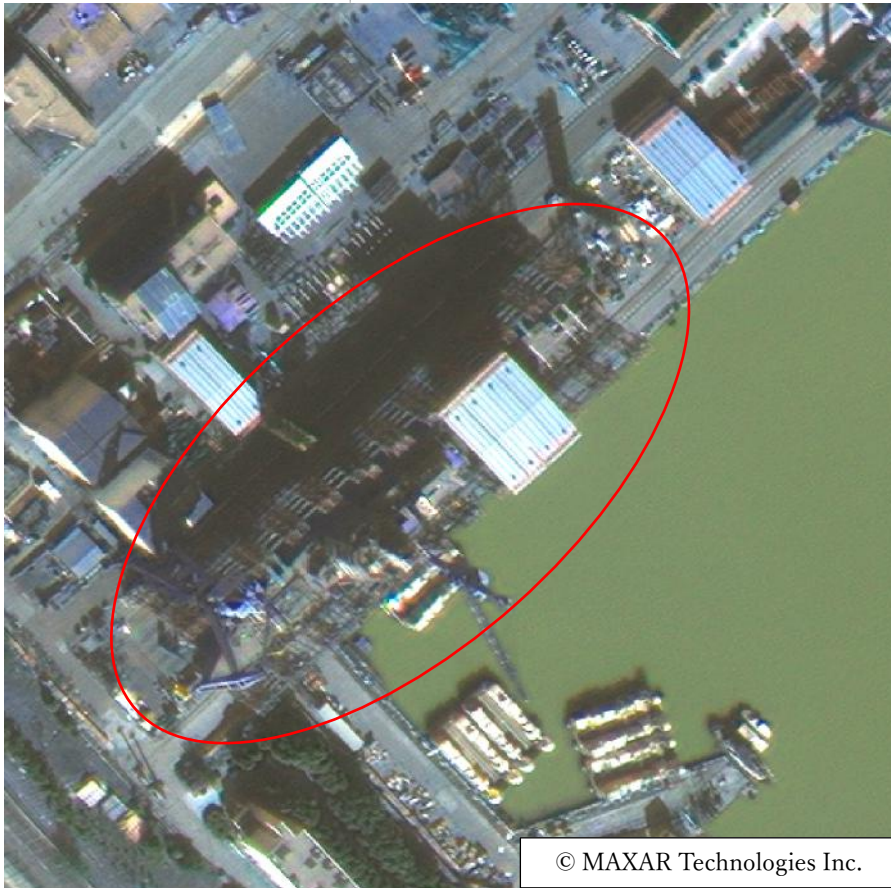


図2 建造中の055型駆逐艦・上海江南造船所（2023年12月2日）



図3 建造中の055型駆逐艦・上海江南造船所（2024年12月20日）



図3は、図2と同じ055型駆逐艦の、2014年12月20日現在の建造状況である。いずれも衛星や航空機から建造状況が確認できないように、環境シェルターがかけられているが、覆っている部分が異なっているのが分かる。同艦の建造状況を継続的に見ていると、この2つの時期だけでなく、時期毎に環境シェルターで覆われている部分が異なっている。



図4 建造中の076型強襲揚陸艦と2隻の054A型フリゲート・滬東中華造船所（2024年12月20日）

図4は、同じ長興島内の滬東中華造船で建造中の076型強襲揚陸艦および2隻の054A型フリゲートである。3隻とも船体全体を覆う環境シェルターは見受けられない。076型強襲揚陸艦は、2024年12月下旬に進水している。同艦には1本のカタパルトが装備されており、建造中から進水後の現在まで、カタパルトの部分にだけ上部が青色の環境シェルターが設置されている。これは、空母「福建」の建造時と同様である。中国はこれら艦艇に新しい技術である電磁カタパルトを採用したとされており、新しい技術を装備する状況を見られたいと考えた可能性がある。

もし、055型駆逐艦にも、建造中の状況を見られたい技術あるいは装備品があるのだとすれば、それはどのようなものだろうか。

考えられる技術の一つが、統合電気推進（統合電源方式）である。同型艦 1 番艦の建造開始（2015 年 1 月）前から、中国共産党機関紙である人民日報傘下の環球時報などは、055 型駆逐艦の建造計画の経緯を示した上で、同艦は 052D 型駆逐艦の成熟した技術を使用するとし、主機はガスタービンで、双軸、ダブルピッチ・スクリューを備えるだろうと報じていた<sup>vi</sup>が、同時に、055 型駆逐艦には新技術の検証という意義があるとも言われていた<sup>vi</sup>。

当時、中国のネット上では、その新技術の中に、統合電気推進が含まれることを期待する声が見られ、先述の環球時報も、『中国 055 型駆逐艦は新概念の武器を搭載し、統合電気推進を採用する可能性』と題する記事を報じ、統合電気推進システムを装備した 055 型駆逐艦の予想図を掲載するとともに、軍事専門家の話として、「同艦は動力に関して革新をもたらす可能性があり、新しい概念の兵器（ルールガンやレーザー兵器等）を搭載する場合は、艦の動力をすべて電気に変え、コンピューターを介して艦全体の電力を配分する必要がある」とした<sup>vii</sup>。

上述の報道の翌日に同紙は、同様に、統合電気推進システムを装備した 055 型駆逐艦の予想図を掲載し、米国を拠点とする Next Big Future が「同艦にはルールガンやレーザー兵器も装備できる」と分析したことを報じている<sup>viii</sup>。同記事は、同時に、中国専門家の話として、「現有艦艇と比較して、055 型駆逐艦は、必ずしも、質的に次世代のブレイクスルーを達成しない可能性がある」と報じていて、故意に曖昧にしようとしているようにも見える。

実は、055 型駆逐艦の建造時に船体全体に環境シェルターがかけられるのは、第 2 バッチの建造が始まってからではない。2018 年当時の衛星画像を見ると、2 隻の同型艦が江南造船所の環境シェルター内で建造されている。当時の建造状況は報道もされている<sup>ix</sup>。一方で、2018 年から 2019 年にかけての衛星画像を確認すると、大連造船所では、環境シェルターをかけずに 2 隻の 055 型駆逐艦を建造している。第 1 バッチの建造における、江南造船所と大連造船所の対応の違いも謎の一つだ。そもそも、第 1 バッチの 055 型駆逐艦建造において、江南造船所が何を隠そうとしたのかが不明である。

実際には、第 1 バッチの 8 隻に統合電気推進が採用されることはなかった。しかし、中国のネット上では、引き続き、055 型駆逐艦に統合電気推進が採用されるという期待が示されている。2018 年 4 月の記事は、「最初の 8 隻の 055 型駆逐艦を引き渡した後、中国の艦艇を建造する造船所は改良型 055 型駆逐艦の設計・建造に移るとみられる。改良型 055 型は、統合電気推進システムを全面的に採用し、搭載される新型艦載兵器の比率を高める見通しだ。噂されている極超音速対艦戦術ミサイル、海上配備型対ミサイル兵器、ルールガンが 055 型改良型駆逐艦に搭載される可能性がある」と述べている<sup>x</sup>。

しかし、衛星画像を見ると、進水した第2バッチの055型駆逐艦の艦砲の形状と大きさは、第1バッチの8隻が搭載する130ミリ砲とほぼ同様である。一方で、VLSに搭載されるミサイル等は衛星画像で確認することはできない。中国が隠したかったのがVLSである可能性もある。建造当初、055型駆逐艦のVLSは128のセルを有すると予想されていた<sup>xi</sup>。実際には112のセルを装備しているが、セル数については1番艦が進水した時点で明らかになるため、それ以降、隠す必要はないだろう。一方で、どのようなミサイルを発射できるのかは、VLSおよび関連機器の構造を見なければ分からないため、装備状況を隠す意味があるかもしれない。055型駆逐艦は、近い将来、対艦弾道ミサイル(ASMBあるいはAShBM)を搭載する可能性がある<sup>xii</sup>とされる。

現段階で、建造中の055型駆逐艦に環境シェルターをかける理由は断定できない。しかし、中国は、自らの戦闘力を明らかにしないために、新しい武器およびそれらを運用するために必要な電源装置や、その設置状況、あるいはそれらを装備していないことを秘匿したいと考えている可能性がある。

---

<sup>i</sup> 「以习近平同志为核心的党中央领导和推进强军兴军纪实」『中国军网』2017年7月10日、  
[http://www.81.cn/jmywyl/2017-07/10/content\\_7672252.htm](http://www.81.cn/jmywyl/2017-07/10/content_7672252.htm) (最終確認2017年7月13日)

<sup>ii</sup> "Military and Security Developments Involving the People's Republic of China" U.S. Department of Defense, December 18, 2024 (最終確認2024年12月19日)

<sup>iii</sup> 例えば、「中国海军明年开工建造055型万吨级导弹驱逐舰」『环球时报』2014年1月29日、  
<https://mil.huanqiu.com/gallery/9CaKrnQh1CL> (最終確認2022年8月1日)、「外媒赞055型超宙斯盾舰 专家：没有跨时代突破」『新华网』2015年1月6日、  
[http://www.xinhuanet.com/mil/2015-01/06/c\\_127361498.htm](http://www.xinhuanet.com/mil/2015-01/06/c_127361498.htm) (最終確認2025年1月12日) など

<sup>iv</sup> 「总投资180亿元！沪东中华造船将从浦东整体迁入长兴岛」『上观 (Shanghai Observer)』2021年1月4日、  
<https://export.shobserver.com/baijiahao/html/328692.html>

<sup>v</sup> 「中国海军明年开工建造055型万吨级导弹驱逐舰」『环球时报』2014年1月29日、  
<https://mil.huanqiu.com/gallery/9CaKrnQh1CL> (最終確認2022年8月1日)

<sup>vi</sup> 例えば、「技术派 | 中国造055大型驱逐舰，只是为新航母充当护卫？」『澎湃新闻』2016年4月8日、  
[https://m.thepaper.cn/kuaibao\\_detail.jsp?contid=1453852&from=kuaibao](https://m.thepaper.cn/kuaibao_detail.jsp?contid=1453852&from=kuaibao) (最終確認2024年1月4日) など

<sup>vii</sup> 「中国055型驱逐舰有望配新概念武器 将用全电力」『环球时报』2015年1月8日、

<http://mil.huanqiu.com/observation/2015-01/5361278.html> (最終確認 2015 年 1 月 10 日)

viii 「外媒称 055 战舰超宙斯盾舰 中国准备大规模海战」『环球时报』2015 年 1 月 9 日、  
<http://mil.huanqiu.com/observation/2015-01/5344990.html> (最終確認 2015 年 1 月 9 日)

ix 「六艘 055 驱逐舰同时开工 美媒坦言：这是美军最糟糕的时代」『新浪新闻』2017 年 12 月 20 日、  
<https://mil.sina.cn/sd/2017-12-20/detail-ifyptkyk5505663.d.html> (最終確認 2020 年 12 月 8 日)

x 「中国 055 大驱何时才能用上电推系统 或从第 9 艘开始」『新浪新闻』2018 年 4 月 28 日、  
<https://mil.sina.cn/sd/2018-04-28/detail-ifzvpatq4519121.d.html> (最終確認 2024 年 1 月 3 日)

xi 「中国造 055 级大型驱逐舰是试探远洋作战关键一步」『人民网』2015 年 1 月 14 日、  
<http://military.people.com.cn/n/2015/0114/c172467-26381479.html> (最終確認 2024 年 1 月 4 日)

xii 例えば、"China Launches 10th Type 055 Vessel, Increases Production At Dagushan" *Naval NEWS*, 28 May 2024, <https://www.navalnews.com/naval-news/2024/05/dalian-shipbuilding-launches-type-055-increases-production-at-dagushan/> (最終確認 2025 年 1 月 17 日) など